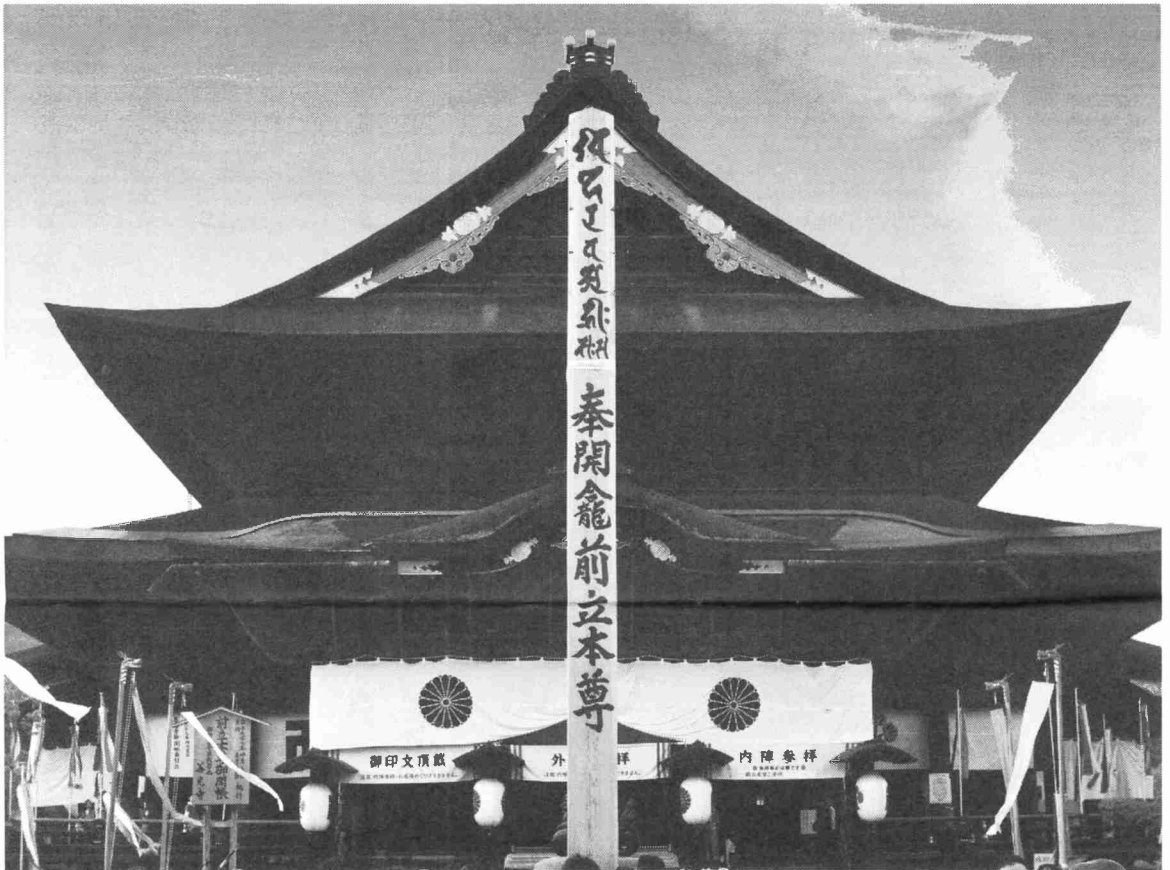


ぜん ぎょう じ
善巧寺報

2 月号

月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660 榎本明覚



善光寺 御開帳

しんらん散歩

～ 善光寺 ～

▼二〇一八年二月一日▲

定例法座

十一月十一日

◎二月十一日(日)午後二時

〓四時

於 法輪会館

『聞いたまんま』

私たちは、目標を定めそれを達成することが人生の意味だと考える事が多いようです。しかし、いつまでも生きていたいという目標を達成することは遂に出来ず、しなければならぬ事の半分も成し遂げる事なく、人生には必ず終わりがやってきます。そのような無常の身の上である私を知り尽くした仏さまは「大丈夫まかせておくれすべて準備は整えてあるから」と私のためにお浄土の世界を建立し「必ず生まれさせ今度こそ安穩の仏と成すぞ」と固く誓われたのでした。法話DVDを共に視聴させて頂きながら阿弥陀仏のお心を味わいましょう。会場は法輪会館です。

みほとけ会月例会

◎二月二十二日(木)午後一時

〓三時

於 豪徳寺駅改札南隣ビル三階・ロージナホール(二階にすぎ家が入っているビルです。)

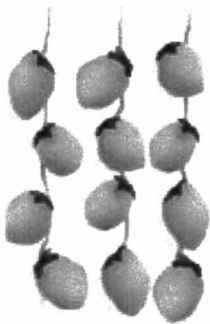
会費 五〇〇円

『大乘仏教の歴史④』

お釈迦さまの滅後九〇〇年、現在のパキスタン・ペシャワールに生まれた天親(世親)菩薩は、「唯識」という仏教学を大成されました。宗教戦争の例を待たず、全ての争いは「正義V.S.正義」である、と言われますが、それがどうして起こるのかを深層心理まで突きつめたのが「唯識」とも言えるでしょう。現代人がまさに学ぶべきところが多分にあると思います。さらに天親菩薩は『浄土論』という書物を著され、能力の劣った者も安穩に至る事が出来る事を顕かにされました。浄土真宗においても七祖のお一人と位置づけられ、親鸞聖人が尊ばれた高僧であります。

◆◆春日部だより◆◆

◎四年ぶりの大雪で、通勤通学も大変だった一月の終わりでした。住職も早朝から雪かき作業。本願寺札幌別院在職中、冬季は雪かきが日課のようなものでしたので、除雪スコップを持つとテンション上がります。ただ北海道とは違って重い雪ですね。日の当たらない路地など、未だ路面が凍結している所もチラホラ。皆様も出掛ける際は充分お気を付け下さい。歩き方のコツはすり足。つま先に重心を置き、やや前傾姿勢で、小股でチヨコチヨコ歩るのがいいでしょう。かかと重心にする と転んで尻もちをつきます。ご参考まで！





玄関を開けるとそこは雪国でした。



お寺の裏手、古利根川では川霧が発生。
早起きは三文の得な幻想的景色が。



◆◆春日部だより◆◆

◎来る二月十六日(金)、埼玉組公開講座『ブツダ×落語』が、さいたま市文化センター小ホールで開催されます。四代目桂春団治師匠が仏教に関わりの深い演目をされ、ZEMEN100分の名著「などでおなじみ、釋徹宗さんが解説ご法話をされます。入場無料ですが、整理券が残すところ四枚です。参加ご希望の方は善巧寺までお問い合わせ下さい。

計 報

去る十二月二十九日、善巧寺門徒総代 富永 巖様が往生なさいました。三十周年記念法要では、写真撮影や駐車誘導など、多くのお役を引き受けて下さり、善巧寺のためにご尽力賜りました。謹んでご生前の厚恩に御礼申し上げます。なお、葬儀につきましては、ご本人の希望により家族葬にて大晦日に勤修させて頂きましたことをここに報告申し上げます。